

302  
243

倭漢朗詠抄



始





留春不住春歸人字浮狀凡不



芝風起花蕭索 白

竹院君閑銷永日花言我醉送殘春 白

けしきのよきさくらをみればはなはなと  
しうとやまらさしよしのをりて 形姪

梅

五嶺蒼々雲徃來但憐犬庾万株梅  
誰之春色從東到露暖南枝花始開

昔三

いづこをさねいづこをさねわらわらわ  
いづこのむねはいづこにまうり 安儀廣庵

わがやいよみさむいづこにわらわらわ  
それいよみさむいづこのむねはいづこにまうり 安儀廣庵

花

世中たゞく様はなすくわさはいふのこ  
うはのこくさあ〜

初花を女者好みこそら仁らる人ぞ  
地まなふ世も乃ち亦恋しく永る恋死 形恒

みづのまや人よのまらむ山橋を  
〜にまわ〜い〜い〜い〜い〜い 素性

納涼

青苔地上銷殘雨  
綠樹陰前逐晚涼

白

露華清夢近  
夜清風襟滿  
灑然秋涼

白

不是襟房無爽氣  
但恐心靜即身涼

白

斑蟊好箇習之  
扇代岸風之長

忘燕昭王  
拓涼之珠  
當沙月之自得

白



秋晚

相思夕上松臺立蒼思蟬聲滿耳秋白

望山出月猶藏影聽砌石泉轉倍好首三品

ささくらやまふしものつれきれすそ  
ほのろよみゆるあよれゆふくれ

松

まよはせたるをみりしとてなれ  
もまよひてはのこるやうなわ  
源宗子

われもよもひさしとてなれ  
まよひのひまをうらむとてなれ

あまらたつあらしみとみのおひあひ  
まよはせたるをみりしとてなれ  
松 安宗子

竹

煇榮家就使相色風枝蕭飒色秋聲白

阮籍嘯場人步月子歎者霞島栖煙章孝標

晉騎兵參軍王子猷載稱此君唐太子

賓客白樂天愛為吾友蔣戎

並笋未袖鳴鳳管盤根澆黠卧龍文中書

しほれ少うたとはまれともまれのる

れなるとよもいりもいけりぬ



鶴

媯少人而啮高位鶴有乘軒惡利口之  
覆家在能穿屋鳳為玉賦

同李陵之入胡但見異類似屈原之在  
楚而人皆醉楚文王醉賦

都未枕上子季鶴形落盡中五老峯白



遊女

秋水未鳴遊女佩寒雲空滿望青山賀葉遜  
翠黛紅圓万事之礼法雖異舟中浪  
上一生々歡會是同以等

遊女のたふすゝるのしづかに  
あまたなるを舟中にして  
人海に

302  
243

老人

水無反夕流  
年深花豈重  
春暮齒梳  
尚齒  
共三

林霧枝聲  
聒不老  
岸風論力  
柳猿強  
月

醉對落花  
心自靜  
眠思餘  
笑凌  
克紅  
雅規

終

